

公民館報
新習志野

公民館報 / 新習志野

編 集 / 館報編集委員会

発 行 / 新習志野公民館

指定管理者 株式会社オーエンス

習志野市秋津 3-6-3 TEL453-3400

<http://sinnara-kominkan.net/>

開館 30 周年 特別号



習志野市新習志野公民館 創立 30 周年を祝して



習志野市長 宮本 泰介

習志野市新習志野公民館が創立 30 周年を迎えられましたことを心よりお祝いたします。また、これまでご利用いただきましたすべての皆様、いつもご支援いただいている地域の皆様、歴代館長をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

新習志野公民館は、平成 4 年 4 月に七中学区学習圏の生涯学習推進の拠点として開館いたしました。平成初の新しい公民館であり、図書館を併設した複合施設として多くの方々にご利用いただきました。開館間もなく、寿学級が発足し、およそ 50 のサークルが活動を開始したと伺っております。そして、2 年後の平成 6 年にはサークル連絡協議会が発足し、サークル同士の連携を取りながら年を重ねるごとに地盤を固め、着実に発展してまいりました。

平成 27 年には公民館業務を指定管理者に委託し、市民の要望でもあった祝日開館と夜間開館が実現いたしました。その後、千葉工業大学の協力を得て青年講座を企画運営し、若者に学習の場を提供しております。また、コンサートをはじめとした地域協働の各事業では、地域に根差した独自の視点を持つ特色ある公民館としての役割を十分に果たしてきました。

今後とも「みんながやさしさでつながるまち」の実現のために、新習志野公民館が一層輝かしい歴史を重ねられるよう祈念申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。

習志野市新習志野公民館 創立 30 周年を迎えて



習志野市教育委員会 教育長 小熊 隆

習志野市新習志野公民館が創立 30 周年という大きな節目を迎えるにあたり、一言御挨拶を申し上げます。

新習志野公民館は平成 4 年に開館し、生涯学習の拠点として、老若男女が「つどい、まなび、つながる」地域交流の場となるよう歩みを進めてまいりました。翌年には「生涯学習フェスティバル」を開催し、学校、地域の活動団体、近隣の公共施設などが一堂に会して、ふれあいと思いやりの輪を広げました。現在では「新習ふれ愛まつり」としてその意向が受け継がれています。七中学区学習圏会議(新習ふれ愛ネット)においても、「いも煮とグラウンドゴルフ」「新習かるた大会」などの事業をととし、地域ぐるみで子どもたちの健全育成に努めてまいりました。また、公民館主催の講座でも、青年領域の講座をいち早く立ち上げ、千葉工業大学の学生を中心に「ユースリーダー養成講座」を開催し、地域活動を支える次世代のリーダー育成に寄与しています。

このように新習志野公民館が、地域に根差した公民館に発展したのも、利用者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

結びに、新習志野公民館が地域の公民館として輝かしい未来に向けてますます発展されることを期待し、挨拶の言葉といたします。

アッという間に30年

～走馬灯のように蘇ってきます～

新習志野公民館初代館長 中村 克子

30 周年おめでとうございます。

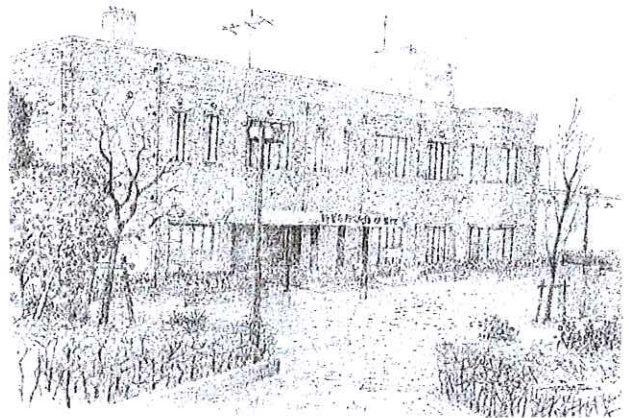
初代館長として平成4年4月着任。N・A 新聞に「中村さんが公民館に帰ってきた！」と掲載され面映ゆかったことを覚えています。

このとき、私的なことですが長女が癌に侵され死が目前にあり、休みも取れず、通常ではない私に習志野文化ホール館長か、新習志野公民館長のいずれかを選択するか、迫られていました。文化ホールでは、ベートーヴェン第9に自分の年齢以上に参加、市民大学コーラスの基礎作り、ダークダックスや東京混声合唱団等と呼んでの「みんなでつくる習志野音楽会」、童謡の伝承をするために、各公民館にサークルを立ち上げてきました。私は文化ホールにもかなり心が揺れましたが、皆さんと一緒に新しい街、秋津・香澄のまちの文化を生み出す創造的な公民館を最終的に選択しました。そのことが、彼女の死も乗り越えられるとも思い、事実、文化祭が眼前にあり職員、サークルの皆さん、地域の方々と夢中になってやりました。それは私の生涯の歴史の中に感謝と共に深く刻み込まれています。

公民館最後の2年間、サークル、主催講座の学級生講師、地域の皆さん、幼・保・小・中学校の子どもたち、職員の皆さん、本当に本当に、ありがとうございました。涙が出る思いです。

平成4年10月に開催された新設新習志野公民館文化祭フィナーレに一句。

夕映えに 友の顔 みな輝(うつ)くしかりき



「開館当時の公民館」 絵：アート茜 渡辺 三夫先生

創立30周年を迎えて



あの時君は若かった
30 年前の平山館長

新習志野公民館長 平山 宣尚

新習志野公民館が創立 30 周年を迎える時に館長を拝命し、光栄に思うとともに身が引き締まる思いです。30 年の栄えある歴史を顧みて、これからの公民館の活動の今日的課題を勘案しながら引き継いでいくことが、私の大きな責務だと感じております。

私事ですが、30 年前は小学校の学級担任をしておりました。数年後にクラスの子どもたちを引き連れて「生涯学習フェスティバル」に参加したことがあります。その頃は、学社連携とか学社融合とかが提唱されていました。このフェスティバルには、学校も家庭も地域社会も一緒になって子どもたちを育てていこう、さらには大人たちも互いに学び合っていこうという気運が感じられました。

新習志野公民館の特色は、老若男女が世代を超えてつどい学び合う、地域の中の公民館であることだと思います。これからも新習志野公民館が生涯学習の拠点として地域と共に歩み、次の歴史を築いていくよう努力して参ります。

30 年を振り返って

学習圏会議元議長 林 節子

新習志野公民館は平成 4 年 4 月に市内で 7 番目に開館しました。

新習志野公民館、最初の講座「第 1 回婦人学級～女性の自己開発～」前期後期各 10 回、5 月から翌年 2 月までに参加をしたのが、私の公民館との初めての関わりでした。そのころ、公民館では各地域の市民が中心になって、生涯学習を広め定着させるため、地区学習圏会議を設置していました。その会議の一員として「第 1 回婦人学級」の受講生たちに呼びかけがありました。今思うと、私は自動的に会議の一員になっていたようです。

少人数ながら 1 年かけて会議を重ね、地域の人たちが人生を豊かにするために、自主的・自発的な意思で参加できる事業を考えていきました。翌年 3 月、第 1 回生涯学習フェスティバルが「世代を超えて集いふれ合おう」をテーマに開催されました。この 2 年、コロナ禍のため中止になっていましたが、今年度は第 28 回「新習ふれ愛まつり」を開催する予定です。



盛況な新習ふれ愛まつり



いも煮と
グランドゴルフ



かるた大会 真剣な眼差し

地域の学習の場から 子どもたちの交流の場に

あの時君は若かった
30 年前の小高相談員



生涯学習相談員 小高 宏文

新習志野公民館地区学習圏会議の起源は、1992 年 12 月に秋津・香澄地区の生涯学習を推進するために発足した生涯学習連絡会議にあります。同会議は「講座や地域活動で得た学習成果を生かして、生涯学習によるまちづくりを」の呼びかけとともに、学校職員・市職員や福祉施設職員等を招いての学習会や、毎月のテーマ・提案者を決めての会議等の活発な活動をしていたことがその頃の館報の記事から伺えます。この会議の 1 年の締めくくりの成果が、地域の各団体の協力を得て開催した生涯学習フェスティバルでした。

平成 12 年に学習圏会議という堅い名称から「新習ふれ愛ネット」という親しみやすい通称が使われるようになり、平成 15 年には「いも煮とレクレーション」「かるた大会」の事業もスタートしました。平成 27 年からは「生涯学習フェスティバル」という事業名が市全体の事業と間違いやすいことから「新習ふれ愛まつり」と改名しました。

生涯学習相談員として私が関わったのは学習圏会議が 20 年を経過した 2012 年（平成 24 年）からでしたが、少なくなってきた秋津・香澄の子どもたちのレクレーションを中心とする交流活動が事業の中心でした。秋の香澄公園を利用した親子での「いも煮とレクレーション」。学年ごとに熱戦を展開する「かるた大会」。初めての活動で目を輝かせて参加する子どもたちがいます。毎年に参加を楽しみにしている子どもたちがいます。そして、地域の事業として定着した「新習ふれ愛まつり」どの事業も回を重ねながら新たな試みを加えスタッフとともに成長してきています。

公民館に心から 感謝しております

ラウンドダンスサークルチェリーズ
小杉 和子

ラウンドダンスサークルチェリーズは新習志野公民館発足と同時に参加させていただいたサークルです。それまでは決まった場所がなく、あちこちの公民館や集会場をその都度探し、レッスンをしていました。明るく広々としたところでレッスンができ感謝しています。

ラウンドダンスは先生のキューイングにあわせてカップルで輪になって踊るダンスです。

コロナ禍になる前は毎年、公民館の文化祭にも参加していました。先生が他でご指導されている袖ヶ浦や松戸のサークルの皆さんにも参加してもらい楽しく踊りました。

発足当時からの会員さんも残っております。是非一度、見学にいらしてください。第2第4金曜日、午後1時から新習志野公民館で活動をしています。



2018 年新習文化祭にて



30 年の活動を振り返って

リズム＆気功
須藤 悦子

リズム＆気功は、新習志野公民館開館と同じ年である平成4年5月に発足し、今年で30年目を迎えました。始めたころは、わずか15名の香澄・秋津近辺の主婦の方たちだけでした。この活動を始めた動機は世の中がどんどん高齢化していく現象を、そのころちょうど二人の母を介護していた自分の生活体験の中でも身にしみて感じつつ、これは何とかしなければ、年を重ねていってもできるだけ元気な体を維持していけるようにと考えたからです。認知症や寝たきりの状態にならないようなサークル活動が日本だけを見ても、まだまだ足りておらず、もっとたくさんの場所で必要だと思います。

一人でも多くの会員の皆様が健康で生き活きと介護をなるべく受けず、過ごせるようにと私は日々、勉強をしたりいつまでも動けるための体操を考えながら指導を続けてきました。「気功」は“一人でいつでもできる”“楽しくできる”など素晴らしいものだ確信しています。もちろん、音楽に合わせてリズムカルに体を動かすことも楽しいことです。

こんなに長く続けてこられたのも、この公民館での良い環境や職員の方々のおかげや会員の皆さんのご協力があったからだと思い感謝しています。私の体が続く限りお役に立ちたいので、このまま指導していけたら幸いです。



リズム＆気功発足30周年記念集合写真

詩吟寸考

吟流会
吉田 湧作

詩吟は漢詩、和歌、俳句、その他詩を声に出し読んで味わう事より生まれ、江戸後期に根づいた。詩の旋律は固有なものでないため、曲のつけ方が様々となり、それに応じて多くの流派が発生した。現今はかなり絞られたもののみ存続している。千葉吟風会はその一つであり、当吟流会は一支部として平成4年にスタートし、講師の指導を仰いでいる。

詩吟に関心を持った人、詩吟が好きな人、詩吟に健康を求める人等が仲間であり、現在3年ぶりに開催される文化祭の発表をめざして練習に励んでいる。

詩吟は慣れていない詩及び旋律を自分のものにする努力と腹から絞り出す声に、身体も脳も活性化され健康に有効である。誤飲防止にも役立つ。また苦勞して習得した詩吟を吟じると気分がすっきりしてストレス解消につながる等のメリットがある。



先生を中心に、文化祭に向けて練習中



着付け、辻が花

辻が花
内片 真美

着付けサークル辻が花は連協発足の翌年 1996 年から 2009 年まで、常増先生を講師にお迎えし活動してまいりました。2010 年より、現在の講師水谷と内片で早 12 年活動しております。

増減はありますが、10 名前後の会員の方と和気あいあいとお稽古に励んでいます。長い方で 10 年以上通われています。

着物を着る機会として、年 2 回、ホテルのお食事と、新習文化祭での発表会参加に向けてお稽古を重ねています。

着物は日本の服飾の文化として受け継いでほしいと願っていますが、着物の種類や着付けの手順などで戸惑われる方も多いと思います。現在は、きっちり、がっちり乱れのない礼装のような着付けが行われていますが、本来は日本人が普段着として身に着けていた服です。基本をおさえ、あとは現在の多様性の中で、自由に個性を見つけだして、楽しみながら着物にふれ合っていただけたらと思っています。



自分で着られるように練習中



笑顔、きらめいて

健康サークルきらめき
澁谷 しづ子

福祉センターにおいて保健師さんの呼びかけで健康な体を保つために、清水妙子先生のご指導で体操教室が始まりました。その後、新習志野公民館が開館したことにより拠点を移しました。

サークル名きらめきは、発足メンバーの一人が大好きな言葉をつけたそうです。健やかに輝いて生きていける、そんな気持ちになれる名前だと思っています。

私は、5～6年前に文化祭で体験させていただき、清水先生のご指導を受けて足の悪い私にも参加できるのではと思い入会しました。

毎回、輪になり音楽に合わせて菜の花体操をしてから始まります。ヨガ風であったり、呼吸法など毎回新しい体操を取り入れてくださり、楽しく続けられています。クールダウンしながらのおしゃべりも楽しいひとときです。

家に帰ると、あれ？手は前だったかしら横だったかなと忘れてしまいます。歯を磨きながら、スクワットしたり、メンバーそれぞれ工夫しながら自宅でも続けています。

コロナ禍で休会したこともありましたが、再開前に香澄公園に集まり軽く体操して、花菖蒲を愛で、久しぶりに会うお仲間と楽しい時を過ごしたこともありました。これからも、健康を維持できるように長く続けていきたいと願っています。



公民館に感謝

晴山会
矢野 文代

近くに新習志野公民館が完成して、それまで香澄集会所で練習をしていたのを公民館でお世話になることになり、我々晴山会も30年を迎えたことになります。

当初は和室を確保するにも一苦労で3ヶ月前の月初は、事務所前に人々が殺気だつて多勢集まっていたことを思い出します。会員も当時の人は年を重ねてやめていった人も多く、なかなか若い仲間が入って来てもらえないので、今は細々と練習を続けています。

村山作子先生のご指導のもと、根っからの踊り好きの仲間と、時を共有する喜びを感じながら活動をしています。

いささか、老人会のような晴山会ですが第1・第2・第4火曜日の午後1時から3時まで和室で新日舞の練習をしております。どうぞお気軽に見学にお出かけください。

最後になりましたがいつも親切、丁寧に対応してくださる公民館の職員の方々に感謝しております。



踊り大好き！



長く続けることが大事です

お知らせコーナー

～From 公民館～



公民館講座は広報習志野、新習志野公民館 HP
チラシ等でご案内しています
講座によっては、**すでに予約が開始**しているもの
もありますので、**新習志野公民館 HP、電話**
等でご確認ください。



10 月からの開催予定講座

子ども講座 ・ お菓子が出てくるお話の 世界にひたろう ・ トンガの魅力発見！ ・ マジックに挑戦	10/8・29(土) (全 2 回) 11/13(日) 12/3・10・17(土) (全 3 回)
ザ・チャレンジ ・ おりがみ・新習かるた	11/19(土) 12/24(土)
子育てリフレッシュ講座 ・ 誰でも簡単にできるかわ いいガマ口	11/24・12/1(木) (全 2 回)
生活悠々講座 ・ 筆ペン、美文字講座 ・ ハワイアンキルトでポー チを作ろう ・ Xmas アレンジメント	10/20・27(木) (全 2 回) 11/18・25(金) (全 2 回) 12/8(木)
・ 新習クッキング	11/11・12/16・1/20 (金) (全 3 回)

☆新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ
ために、事業の中止、内容の変更をす
る場合があります。最新の情報をホー
ムページ、広報習志野、チラシ、電話
等でご確認ください。

H P <http://sinnara-kominkan.net/>
TEL 047-453-3400



この館報は公民館にも置いてあり
ます。また、ホームページでもご覧
いただけます。

編集委員
が行く

青空の下でラジオ体操
& 「ポポロマルシェ」



毎週水曜日午前 8 時 50 分から秋津花の実園の
広場にてラジオ体操が開催されています。誰でも
自由に参加でき、取材日は約 30 名の方が集まって
きました。

広場の真ん中で元気よく体操する方もいれば、足
腰に自信がないけれど椅子に座りながら参加する
方などスタイルは様々。

そして参加者の流れは 9 時から開催の「ポポロ
マルシェ」へ。八角形の白壁が特徴的な建物のあ
るデッキには、新鮮な旬の野菜や花々が並び、多
くのお客さんで賑わっていました。

風のテラスと呼ばれるその場所は、地域住民と
スタッフとして働く施設利用者との交流の場とし
て、心地よい爽やかな風を感じることができまし
た。 E.T



編集委員のつ・ぶ・や・き

テレビの散歩番組を好んで観ている。行き当たり
ぱったり（ではないか……）気になった場所で足を
止めたり、お店に入ってみたりする。番組を真似て
電車に乗って出掛け、少し遠い街を散歩してみるこ
ともある。成り行きに任せて歩いていると、思いが
けない出会いもある。なかなか遠いところへ旅行が
できない日々が続いているが、住み慣れた街であっ
ても、歩き方しだい、気持ちしだい旅にもできる
かもしれない。 I.S